

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年12月26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) ・支援可能職員が少ない ・コマ数はまわっているが改善や工夫は必要
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に則った、満足度の高い支援の提供。	入所時より、丁寧なアセスメントによりご利用者様それぞれに適した個別支援計画を策定しております。日々の支援の中で「楽しかった!」「またやろうね!」と感じられるよう、職員一同、日々研鑽に励んでおります。	内外部の研修に参加し、療育の質の向上を図り職員それぞれのスキル向上につなげます 利用者のみなさまに寄り添った支援が実施できるよう、これからも磨いてまいります。
2	相談しやすい環境設定と職員との温度感。	日々の支援時に行われるフィードバックを中心に、いつでも話せる・相談できる環境を整えております。また、職員間で常に情報共有を行っておりますため、どの職員へ相談しても対応できるようにしております。 相談内容によっては、相談支援の提供も視野に入れながら、家族全体をサポートできるよう取り組んでおります。	引き続き日々のフィードバックの中で、話しやすい環境を整えています。
3	外部の関係機関との連携による情報提供の豊富さ。	管理者および児発管だけでなく、職員全体で外部の関係機関へ赴いて関係を築いております。そのため様々な機関と横のつながりができております。	引き続き、地域のさまざまな関係機関と連携してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設面での不具合、不都合。	一度に支援できる人数に限りがあり、さらにそのスペースが限られてしまっています。支援内容によって安全に支援を実施できるスペースを確保することが難しいときもあります。	毎日のミーティングの中で、その日の支援内容を全体で共有し、どの支援の際にそのスペースを使用するのか、体を動かす支援が入る時にはどの程度の広さを確保するのが望ましいのかなどを共有しております。 また、ご利用者様の支援の内容を考慮しながら、毎日の支援数を組み立てております。
2	環境・衛生・安全に過ごすための整備。	災害時やケガ、感染症の流行が起こったときの教室での取り組みが不透明であり、発信がうまくできておりませんでした。	「きらり」では毎月の避難訓練に加え、毎月防災についての訓練を職員間で実施しております。その内容は多岐に渡り、災害について、感染症について、嘔吐処理について、防犯対策などについて等皆様が安心して過ごせるよう尽力しております。教室内への掲示やおたより、Instagramなどを活用しながら、安心して通える環境を今後発信してまいります。
3	関係機関や地域との連携について。	外部の関係機関や地域のセンターとも連携しておりますが、周知が足りませんでした。	地域の様々な関係機関との連携の幅を広げつつ、その発信をしていけるよう努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 32

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	・支援可能 職員が少な	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	6	2	0	・運動遊びなど体を動かす活動をするには狭いと思います。	・ご意見ありがとうございます。粗大運動を行う際には、更なるスペースを確保できるよう十分に配慮いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	5	3	0	・集中力を高めるための支援をしてほしい ・バリアフリー化は難しいと思う	ご意見ありがとうございます。 ・環境面に配慮し整えていきます。 ・パーティションや椅子などの設置位置を考慮し留意してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3	1	0	・感染症が流行する時期などは定期的に換気してほしい	・ご意見ありがとうございます。1時間ごとの支援終了時に換気するよう心掛けてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	4	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	3	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	4	3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	2	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	1	2	・保育園等訪問支援サービスについて教えていただき、大変感謝しています。	・ありがとうございます。これからもご不明な点等ございましたらいつでもご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	7	・入所して日が浅いので不明	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	0	13	・入所して日が浅いので不明	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	9		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	3	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校				
		公表日 2025 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・ 支援可能職員が少ない ・ コマ数はまわっているが改善や工夫は必要	支援可能職員が少ない点については上長にも掛け合い人員についての相談をいたします。コマの回し方については職員間で協力しながら引き続き行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・ 2F階段のみ ・ 室内は適切に設備されている ・ バリアフリー化はされていないがこどもたちには「心地よい空間」となっている	見学・体験等であらうしやる方へは事前にお伝えをしご理解いただけるよういたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ パーティションで区切られている	引き続き、パーティションが倒れないような工夫とご利用のお子さんに合わせて適切に設置してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ ミーティングを行っている	引き続き、毎日のミーティングと週に1回の会議を実施してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・ 第三者ではないが内部監査をおこない業務の抜けがないようにしている	義務化されていないため第三者評価の実施はしていません。しかしながら、このような評価の時期で保護者のみなさまからのご意見や日々の支援の時に感じたことをすぐに相談できる環境を整えております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ 個別でプログラム、フィードバックはしている	支援プログラムはHP上で公開しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ 支援前に一読している	全職員が、支援に入る前に必ず個別支援計画を一読し、内容については児発管への確認をしております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ 個別なので標準化ツールはない	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・担当制でないため、引継ぎを行い、共有してプログラム作成を行っている	日々のミーティングや引継ぎの際に必ず情報や支援内容の共有を行い、ご利用者に合った支援内容を提供できるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団への促しが必要な利用者には個別支援計画に記載している	月の中で行われる小集団活動への声掛けを行っています。
	20	文庫の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○		・(月)～(金)でミーティング。時にできないこともある	基本的には毎日のミーティングを実施しており、支援や会議、研修などで実施できない際にも必ず直近で実施するようにスケジュールリングをしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・PC上で共有と、上記ミーティングで共有 ・翌日MTにて情報共有	上記のミーティング内での共有のほかに、月の中で必ず支援についての会議を行い、そこで全職員が情報を共有できるような時間をとっております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育・教育機関(学校)との関係機関連携はしている。	協力医療機関や保育所との連携、また地域の他事業所との関係構築のため会議などに積極的に参加しております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者要望に応じ行っている	秋口に保護者会を実施し、その時期を皮切りに就学について小学校等との連携を図っております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		・連携は行っているが、スーパーバイザーとしてアドバイスをいただく機会はない	年に数回情報共有の場を設定しており、その中で実施できるよう設定していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域へのオープンな活動は企画していない	教室のイベントを地域の中でオープンにはしていませんが、機会があれば検討していきたいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		掲示している	地域の児童発達支援センターなどから来る掲示物の配布や掲示をおこなっております。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談支援の実施	日々の支援のフィードバックの際にお声がけをしたり、LINEなどでご相談いただいた際にはお時間をとって相談支援を実施しております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母会はないが、就学時の保護者交流は計画している ・年に1回夏前後に保護者会をおこなっている	毎年夏～秋にかけて保護者会を実施しております。また、保護者同士での交流の場も今後企画していきたいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			